

実務経験のある教員等による授業科目の配置 2022年度

科目区分	授業コード	授業科目名	単位数	担当教員名	授業科目と実務経験の関係
学士課程基幹教育科目(全学共通) (10単位)	10278 10279 10280 10282 10283 10284	情報と社会	2	遠藤 晃男	大手通信会社で情報インフラの開発に携わった経験を活かし、この授業では、情報とはなにか、人間社会にいかにかかわり合うかを、情報の概念、情報のデジタル化とコンピュータ処理、インターネットの進展、著作権とプライバシー、高度情報化社会とセキュリティ等より学生に考察させる実践的な教育を行なう。
	10313	グローバル化する社会	2	高橋 悟	総合商社及び国際協力機構（JICA）における海外勤務・渡航経験を活かし、この授業では、不可逆的に進行するグローバル化の概要、グローバル化が及ぼす多角的な影響を理解するとともに、自らもグローバル化の一部を成すことを自覚し、進んで学ぶ態度・姿勢を学生に身につけさせる。
	10305 10306	地域課題とボランティア活動	2	萩原 雅也	教育委員会で社会教育主事として業務に携わった経験を活かし、この授業では、ボランティア活動などの市民活動が持つ意義を講義し、ボランティアをはじめとする地域社会と連携した活動を進める基礎的な知識とスキルを学生に身に付けさせる。
	10308 10309 10310	マナーとホスピタリティ	2	兒島 尚子	企業で秘書として業務に携わった経験を活かし、この授業では、社会生活において好印象を与えるマナーを理解させ、現代社会であらゆる組織、企業で必須とされる「ホスピタリティ」が実践できるようになり、ビジネスに反映できる能力を身に付けさせる。
	10374 10375 10376 10379 10380 10381 10382 10383	キャリア設計	1	高松 直紀	企業等でキャリアコンサルタントとしてキャリアコンサルティングや採用業務に携わった経験を活かし、この授業では、自己理解を深め、自分の強み、価値観、興味・関心を明らかにし、社会で働くために必要とされる能力や学生時代に身につけておくべき能力を学生に理解させる。
	10394 10395	インターンシップ A (就業体験型)	1	高松 直紀 兒島 尚子	企業等でキャリアコンサルタントとしてキャリアコンサルティングや採用業務に携わった経験を活かし、この授業では、就業体験を通じて、学生に自己の職業適性や将来設計について考えてもらい、多様な人々と仕事をしていくために必要とされる社会人基礎力を身につけさせる。 なお、この科目は学外でのインターンシップの体験だけでなく、学内での事前授業、事後授業、インターンシップ報告会を通して就業体験と大学での学習を統合し、将来設計について主体的に考えることを目指すものである。
国文学科 専攻科目 (14単位)	18135	書道教科教育法A	2	八巻 敏幸	大阪府立の高等学校での教員経験を活かし、この授業では、指導方法の研究や授業展開の工夫などの研究を行い、模擬授業を通して、生徒が自ら考え自ら学ぶ授業の在り方を考察し、指導者としての資質、能力、実践力・指導力を育成する。
	18136	書道教科教育法B	2	八巻 敏幸	大阪府立の高等学校での教員経験を活かし、この授業では、指導方法の研究や授業展開の工夫などの研究を行い、模擬授業を通して、生徒が自ら考え自ら学ぶ授業の在り方を考察し、指導者としての資質、能力、実践力・指導力を育成する。
国際英語学科 専攻科目 (15単位)	12047 12048	国際英語インターンシップ	1	高橋 悟 大河内 瞳	総合商社及び国際協力機構（JICA）における海外勤務・渡航経験を活かし、この授業では、大学での勉学内容と就業体験を統合し、学生にさらなる学習の機会と方向性をつかんでもらう。また企業での実習を通じて、自己の職業適性や将来設計について主体的に学生に考えさせる。 なお、この科目は学外でのインターンシップの体験を授業の中心に位置づけているものである。
	12052	国際関係論	2	高橋 悟	総合商社及び国際協力機構（JICA）における海外勤務・渡航経験を活かし、この授業では、国家と多様な政府・非政府機関から成る国際社会の相互関係を学ばせる。これを通じて、学生に、自らが国際社会の一員であることを自覚させ、平和で豊かな社会の実現に向けて貢献する態度・姿勢を身に付けさせる。
	12072	観光ホスピタリティ論	2	高橋 悟	総合商社及び国際協力機構（JICA）における海外勤務・渡航経験を活かし、この授業では、近年の訪日外客数の動向を視察し、観光とホスピタリティの概念、観光を含む旅行・航空・宿泊業における様々なホスピタリティのあり方についての理解を促す。
心理学科 専攻科目 (16単位)	14004	心理学の現場	2	山崎 晃男 坂田 浩之	社会生活向上のための心理学的理論・技術の実践的活用の実態について具体的な事例を通して理解する。このために心理学の専門的知識を生かして業務を遂行している方（児童施設、福祉施設、矯正施設、教育機関、研究施設、企業の人事教育部門、広告・広報部門、製品開発部門など）をゲストスピーカーとして招聘し、その実務経験に基づく講演をしていただく。
	14028	臨床心理学	2	野田 実希	臨床心理士として医療・教育現場における心理的支援業務に携わった経験を活かし、この授業では、心理療法の基礎理論である臨床心理学と、臨床心理学の対象となる心の病いについて学ばせるとともに、様々な心理的アセスメントならびに様々な立場や理論における心理療法についての基本的な知識を身につけさせる。
	14029	心理学的支援法	2	根本 眞弓	学校・病院にて臨床心理士として業務に携わった経験を活かし、この授業では、さまざまな心理療法の手法、心理療法を行う時に必要となる臨床心理学の理論や技法、クライアントとセラピストの治療的関係性について学生に身につけさせる。

実務経験のある教員等による授業科目の配置 2022年度

科目区分	授業コード	授業科目名	単位数	担当教員名	授業科目と実務経験の関係
ライフプランニング 学科専攻科目 (18単位)	18401 18402	生涯学習概論Ⅰ	2	萩原 雅也	教育委員会で社会教育主事として業務に携わった経験を活かし、この授業では、生涯学習理念、教育に関する法規・制度、自治体の行財政の仕組み、社会教育の特質と内容並びに学校教育・家庭教育との関連、社会教育施設の概要と運営、学習活動への支援等について学ばせる。 なお、この授業科目は司書・社会教育主事・学芸員等の社会教育に関する専門的資格取得に不可欠な生涯学習・社会教育に関する基礎知識を獲得させる科目としても位置づけられる。
	15048	企業活動とキャリア研究	2	高松 直紀	企業等でキャリアコンサルタントとしてキャリアコンサルティングや採用業務に携わった経験を活かし、この授業では、キャリア理論を活用することや他者の体験を聞くことなどを通して、就職活動やキャリア選択について主体的に取り組む力を身につけさせる。 なお、この科目は、企業から複数の学外講師を招聘し、学外講師の講義や業界・企業研究を通して、就職活動の概要や採用視点を知り、また、企業活動について学ぶものである。
	15049	ビジネス・コミュニケーション A	2	兒島 尚子	企業で秘書として業務に携わった経験を活かし、この授業では、ビジネスに必要なコミュニケーションスキルや事務処理能力、またビジネスマナーを身につけさせる。
	15050	ビジネス・コミュニケーション B	2	兒島 尚子	企業で秘書として業務に携わった経験を活かし、この授業では、ビジネスに必要なコミュニケーションスキルや事務処理能力、またビジネスマナーを身につけさせる。
化粧品ファッション学科 (ファッション学コース) (16単位)	16080	化粧品基礎科学	2	高田 定樹	化粧品会社で化粧品科学研究・技術開発に携わった経験を活かし、この授業では、科学が身近なものであることが実感できるように、化粧品や身体装飾に関する工学・皮膚科学、化粧品科学の特異性を理解しつつ、化学に関する基本的事項を学ばせる。
	16018 16019	メイクデザイン論	2	高木 大輔	化粧品会社、美容室、およびヘアメイクアップアーティストとして技術教育、デモンストレーション、作品制作等の業務に携わった経験を活かし、この授業ではメイクアップとその周辺領域の基礎的知識の修得を通して、メイクデザインに関する多角的な視点を獲得させる。
	16072 16073 16074 16075	メイクデザイン実習Ⅰ	1	高木 大輔	化粧品会社、美容室、およびヘアメイクアップアーティストとして技術教育、デモンストレーション、作品制作等の業務に携わった経験を活かし、この授業ではメイクアップの基礎技術の修得を通して、基本的な手技、話法、コミュニケーション法などを身につけさせる。
	16076 16077 16078 16079	メイクデザイン実習Ⅱ	1	高木 大輔	化粧品会社、美容室、およびヘアメイクアップアーティストとして技術教育、デモンストレーション、作品制作等の業務に携わった経験を活かし、この授業ではメイクデザインを行う上で必要となる視点、分析方法、技法等を学びながら、メイクアップの基本的知識・技術を身につけさせる。
化粧品ファッション学科 (化粧品学コース) (16単位)	16080	化粧品基礎科学	2	高田 定樹	化粧品会社で化粧品科学研究・技術開発に携わった経験を活かし、この授業では、科学が身近なものであることが実感できるように、化粧品や身体装飾に関する工学・皮膚科学、化粧品科学の特異性を理解しつつ、化学に関する基本的事項を学ばせる。
	16018 16019	メイクデザイン論	2	高木 大輔	化粧品会社、美容室、およびヘアメイクアップアーティストとして技術教育、デモンストレーション、作品制作等の業務に携わった経験を活かし、この授業ではメイクアップとその周辺領域の基礎的知識の修得を通して、メイクデザインに関する多角的な視点を獲得させる。
	16072 16073 16074 16075	メイクデザイン実習Ⅰ	1	高木 大輔	化粧品会社、美容室、およびヘアメイクアップアーティストとして技術教育、デモンストレーション、作品制作等の業務に携わった経験を活かし、この授業ではメイクアップの基礎技術の修得を通して、基本的な手技、話法、コミュニケーション法などを身につけさせる。
	16076 16077 16078 16079	メイクデザイン実習Ⅱ	1	高木 大輔	化粧品会社、美容室、およびヘアメイクアップアーティストとして技術教育、デモンストレーション、作品制作等の業務に携わった経験を活かし、この授業ではメイクデザインを行う上で必要となる視点、分析方法、技法等を学びながら、メイクアップの基本的知識・技術を身につけさせる。
化粧品ファッション学科 (美容コース) (16単位)	16018 16019	メイクデザイン論	2	高木 大輔	化粧品会社、美容室、およびヘアメイクアップアーティストとして技術教育、デモンストレーション、作品制作等の業務に携わった経験を活かし、この授業ではメイクアップとその周辺領域の基礎的知識の修得を通して、メイクデザインに関する多角的な視点を獲得させる。
	16194	表現の技術A	2	角田 憲一	美容師としての実務経験を活かし、この授業では、美容技術理論のうち美容用具の取り扱い方、シャンプーの理論、ヘアカッティングの理論等を身につけさせて、実践力を向上させる。
	16195	表現の技術B	2	角田 憲一	美容師としての実務経験を活かし、この授業では、美容技術理論のうちパーマメントウェービングの理論、ヘアセットの理論、ヘアカラーリングの理論等を身につけさせて、実践力を向上させる。

実務経験のある教員等による授業科目の配置 2022年度

科目区分	授業コード	授業科目名	単位数	担当教員名	授業科目と実務経験の関係
児童教育学科 専攻科目 (18単位)	40082 40083	教職概論	2	松川 利広	小学校での教員経験及び中学校校長を務めた経験を活かし、この授業では、教職の意義、教員の役割、教員の資質能力、教員の職務内容等について理解させ、その内容について言葉や図表等にまとめたり、自己や他者との対話を楽しみながら、教職に対する自らの適性を考察させるとともに、教職への志向を確立させる。
	40096	小学校教育実習	4	大杉 稔 田辺久信 上杉敏行 一柳康人	小学校、中学校での教員経験を活かし、この授業では、教育実習を通じて小学校教員として必要な技能や態度、専門性、社会人としてあるべき姿を学生に身につけさせる。
	40197 40198 40199	初等教科教育法(国語)	2	大杉 稔	小学校における指導経験を活かし、この授業では、小学校国語科の特質に関心を持って学び、その目標、指導内容、方法、評価等について実感的に理解し、指導案の作成や模擬授業を通して、言語能力を養うための実践的な指導力を身につけられるよう導きます。
健康栄養学科・管 理栄養士専攻 専攻科目 (23単位)	13037 13038 13039	臨床病態学総論	2	三善 陽子	医師としての経験を活かし、この授業では、病態学の理解に必要な解剖・組織学、その他の基礎的事項の解説を加えながら、病変や疾患の本質および臨床医学の実際について論じ、学生に、病気(疾病)についての総合的な理解、病理・病態学的専門用語や医学用語理解、各臓器に共通する基本的な病変や病因(病態)の理解をさせる。
	13040 13041 13042	臨床病態学各論	2	三善 陽子	医師としての経験を活かし、この授業では、病態学の理解に必要な解剖・組織学、その他の基礎的事項の解説を加えながら、病変や疾患の本質および臨床医学の実際について論じ、学生に、病気(疾病)についての総合的な理解、病理・病態学的専門用語や医学用語、各臓器に共通する基本的な病変や病因(病態)の理解をさせる。
	13055 13056 13057	食品プロセス学	2	稲垣 秀一郎	食品メーカーで研究開発に携わった経験を活かし、この授業では、食生活における食品の加工および貯蔵技術、また加工食品の規格・表示と関連法規から食品の安全性への考え方を理解させ、多種の加工食品を日常の食生活で上手に利用していく知識を身につけさせる。
	13058 13059 13060	食品プロセス学実験A	1	稲垣 秀一郎	食品メーカーで研究開発に携わった経験を活かし、この授業では、素材から食品が製造されるまでのプロセス、栄養面・安全面・嗜好面も含めて食品の特性、市販加工食品の特徴を、実習を通して学生に理解させる。
	13141 13142 13143	給食経営管理論A	2	赤尾 正	病院での管理栄養士としての経験を活かし、この授業では、喫食者の健康・栄養状態の改善・維持・向上、QOLの向上を目標とした給食の提供のために必要な運営や関連資源(人・物・金・情報など)ならびにマネジメント(栄養・食事管理、生産管理、品質管理、施設・設備管理、安全・衛生管理)の基本的な考え方や実践方法について理解させる。
	13217	学校食教育概論	2	田上 成美	栄養教諭としての経験を活かし、この授業では、食生活に関する歴史や食文化、児童・生徒の栄養に係る諸課題を踏まえ、給食の時間や教科における食に関する指導、食物アレルギー等特別な指導を要する児童・生徒への個別相談指導等の必要性について理解をさせ、栄養教諭の職務内容や使命、役割を学ばせる。
	13218	学校食教育実践論	2	田上 成美	栄養教諭としての経験を活かし、この授業では、学校給食に適した献立作成、衛生管理基準に基づく作業工程表・作業動線図の作成、食に関する指導のための指導案および教材作成、さらに模擬授業を通して、栄養に関する専門性および教育に関する専門性を併せ持つ、栄養教諭として必要な知識・技能を身に付けさせる。
健康栄養学科・食 物栄養専攻 専攻科目 (18単位)	13506	臨床病態学	2	三善 陽子	医師としての経験を活かし、この授業では、病態学の理解に必要な解剖・組織学、その他の基礎的事項の解説を加えながら、病変や疾患の本質および臨床医学の実際について論じ、学生に、病気(疾病)についての総合的な理解、病理・病態学的専門用語や医学用語、各臓器に共通する基本的な病変や病因(病態)の理解をさせる。
	13511	食品プロセス学	2	稲垣 秀一郎	食品メーカーで研究開発に携わった経験を活かし、この授業では、食生活における食品の加工および貯蔵技術、また加工食品の規格・表示と関連法規から食品の安全性への考え方を理解させ、多種の加工食品を日常の食生活で上手に利用していく知識を身につけさせる。
	13528	公衆栄養学	2	木村 明美	保健所での管理栄養士としての経験を活かし、この授業では地域の健康・栄養問題やその背景についての情報収集・アセスメントを通して栄養改善事業を企画できるようになることを目指す。具体的には、公衆栄養プログラムの作成・実施・評価等のマネジメントについて実践的な授業を展開することにより、様々な現場の栄養士として活躍する際に必要な公衆栄養の視点を養う。
	13541	学校食教育概論	2	田上 成美	栄養教諭としての経験を活かし、この授業では、食生活に関する歴史や食文化、児童・生徒の栄養に係る諸課題を踏まえ、給食の時間や教科における食に関する指導、食物アレルギー等特別な指導を要する児童・生徒への個別相談指導等の必要性について理解をさせ、栄養教諭の職務内容や使命、役割を学ばせる。
	13542	学校食教育実践論	2	田上 成美	栄養教諭としての経験を活かし、この授業では、学校給食に適した献立作成、衛生管理基準に基づく作業工程表・作業動線図の作成、食に関する指導のための指導案および教材作成、さらに模擬授業を通して、栄養に関する専門性および教育に関する専門性を併せ持つ、栄養教諭として必要な知識・技能を身に付けさせる。